6 ペット用品の備蓄

いざというときには、なかなか手に入りません。大切なペットを守るために、下記を参考に必要な物資を用意しておきましょう。

- □ 普段から食べているペットフードや飲み水（最低5日分、できれば7日分以上）
- □ 療法食、薬
- □ ペット用食器類
- □ ペットシーツ、ウェットタオル
- □ リード、ハーネス
- □ ケージ、キャリーバッグ
- □ 排泄物の処理用具、トイレ用品
- □ 毛布、ブランケット
- □ 飼い主への連絡先、ペットに関する情報
- □ ガムテープ、ビニール袋
- □ お気に入りのおもちゃ

避難所・自主避難施設の情報はこちらから

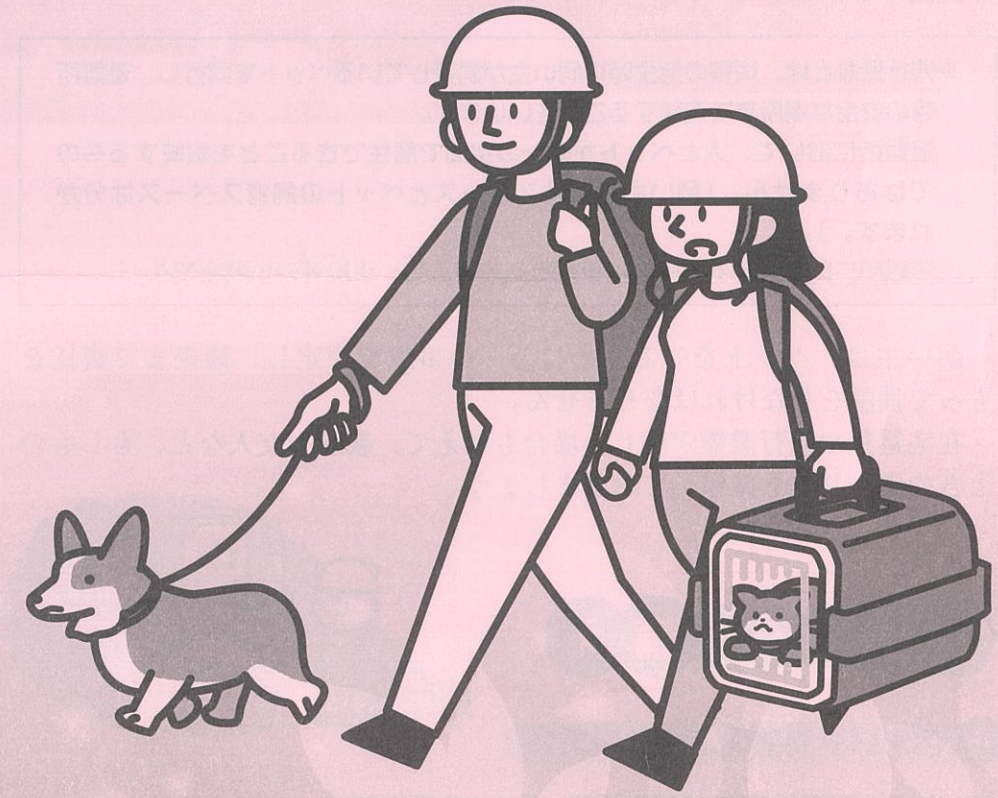
江東区防災ポータル

江東区防災アプリ

iOS

Android

ペットとの避難行動ガイド



江東区保健所 生活衛生課
東京都江東区東陽二丁目１番１号
TEL 3647-5844　FAX 3615-7171

ペットを守るために

災害が起こったら、まずは自身の安全の確保をしましょう。
飼い主が無事でなければ、ペットを守ることはできません。
ご自宅が安全なら**「在宅避難」**を検討してください。慣れた生活環境で過ごせるため、避難所生活に伴う精神的な負担や疲労を減らせます。
避難が必要な場合には、**できるだけペットと一緒に、より安全な場所へ避難しましょう（同行避難）※。**
江東区では原則として開設した避難所（区立小中学校等）がペット受入可能施設となります。

> **※同行避難とは、災害の発生時に飼い主が飼養しているペットを同行し、避難所等の安全な場所まで避難することをいいます。**
> **避難所において、人とペットが同一の空間で居住できることを意味するものではありません。（飼い主の居住スペースとペットの飼育スペースは分かれます。）**
> **避難所に同行できるペットは原則として犬・猫・小鳥等の小動物です。**

飼い主は、ペットを守るために万一の事態を想定し、最後まで責任をもって世話をしなければなりません。
在宅避難や同行避難が難しい場合も考えて、親戚や友人など、もしものときの預かり先も確保しておきましょう。



日頃からの備え

① 住まいや飼養場所の防災対策

- □ **家屋の耐震強度の確認や補強、ガラスの飛散防止**
- □ **家具やケージの固定、転倒防止、落下防止**
- □ **屋外飼養の場合は、飼養場所の安全確認（外塀やガラス窓の近くを避ける）**
- □ **ケージ、クレートなどペットの避難場所（隠れ場所）の確保**

② 避難先の確認

避難先を把握しておきましょう。できれば実際にペットを連れて、自宅からルートを確認しておきましょう。
また、親戚や友人など、複数の一時預け先を探しておくことが望ましいでしょう。

③ 基本的なしつけ

避難先では、見知らぬ人や他の犬・猫たちと生活を共にしなければなりません。また、動物の苦手な方や、動物の毛等によるアレルギーを持っている方もいます。みんなに快く受け入れてもらえるように、日頃からしつけをしておきましょう。

- □ **オスワリやマテ、オイデといった基本的なしつけができている**
- □ **見知らぬ人や他の動物を怖がらない**
- □ **無駄吠えをしない**
- □ **ケージの中でも長い時間過ごせる**
- □ **トイレは決められたところでする**

④ 健康管理

- □ **人や他の動物への感染や寄生の恐れのあるノミやダニ等を駆除している**
- □ **ワクチン接種や狂犬病予防注射をしている**
- □ **不妊去勢手術を受けている（他の動物とのトラブルを軽減できます）**

⑤ 身元表示

ペットには**鑑札や迷子札**をつけておきましょう。迷子札や首輪等に飼い主の名前と連絡先を書いておけば、迷子になっても見つかる可能性が高くなります。半永久的に識別可能な身元証明として、マイクロチップを入れておけばさらに確実です。
また、ペットの写真を複数枚持っていれば、探す手がかりとなります。